

国際会議に参加して実感したこと

情報工学府情報創成工学専攻M2 武 菁



研究内容

平成26年5月26日～5月28日に台湾の台北で開催された国際会議 IEEE International Conference on Consumer Electronics-Taiwan (ICCE-TW 2014)に参加しました。

私は、風景画像や、文書をスキャナで取り込んだ画像に対して墨塗り署名を適用する場合を考え、署名を生成する際に必要な墨塗り対象領域分割において、署名サイズを抑制しつつ、任意要素の墨塗りを可能とする2つ領域分割手法について発表しました。

学会の経験

私は母国で、大学まで英語を勉強してきました。毎日、英語の新聞や小説を読んでいます。本当に、英語が好きでした。ただし、英語を喋ることは上手ではありません。現在の社会では、グローバルな人材が求められています。ますます、英語の重要性を感じたので、私はこの弱点を克服し、自分を鍛えるために、今回の参加を決意しました。

国際会議での発表は初めてで、最初はどきどきしましたが、いろいろな経験を得られました。数多くの優れた先生と学生たちの最新の研究を聞いて、これからの私の研究に役立つこともたくさん勉強しました。確かに、日ごろの研究はとても大事なことです。他の国の学生たちの研究を知り、国際的な視野を開拓することも重要だと考えております。また、今回のチャンスで、友達もいっぱい

作りました。現在の優れたネット環境や資源を利用し、国外のコミュニケーションを簡単に行うことができます。一方で、英語に対する見方も変化しました。英語は、他国の人たちに不可欠な道具です。そのために、自分の英語の障壁がなくなるように努力しなければなりません。自分で学ぶだけでなく、九州工業大学の外国人留学生とも積極的に会話するよう頑張ります。

台湾の体験

今回の発表のおかげで、台湾に旅行することができました。台湾の美しい景色を見ながら、数多くの美味しいスナックも心ゆくまで味わいました。同じ中国語を喋っても、生活習慣と食文化の違いがあることを学びました。特に台北で、2004年に世界で一番高い建築物として竣工された「台北101」も観覧しました。ちなみに、自然風景として有名で、さらに宮崎駿のアニメ『千と千尋の神隠し』のモデルになったという噂もあった「九份」というところも行きました。みんなも美しい光景に陶

酔しました。楽しいひとときを過ごしました。

謝辞

今回の国際会議に参加するに当たり、奨学金を援助していただいた明専会、及び機会を与えていただいた碓崎賢一教授、常日頃ご指導いただいている荒木俊輔助教、共に過ごした碓崎研究室の学生の皆さん、全ての方々に厚く御礼申し上げます。

(平成26年6月記)



台北101



有名な小籠包店「鼎泰丰」